

カレッジだより



20期生401人が入学

満開の桜に迎えられ、4月5日、第20期生401人の入学式が10時半からカレッジホールで行われました。今井鎮雄学長は「超高齢化時代を迎えて、より良い社会にするためにはどうしたらいいか。皆さんの人生体験と知恵を生かして考えてほしい。



第2の人生を楽しむだけでなく、「再び学んで他のために」の精神をかみしめ、豊かな新しい時代をつくる先駆者になってほしい」と激励のメッセージを贈りました。コース別入学者は健福83人、国際98人、生環60人、美工40人、音文40人、園芸40人、食文40人。

カレッジには、9時半過ぎから晴れやかな笑顔の新入生が続々と登校。新たな学園生活に期待をふくらませていました。入口では、東北支援募金の呼びかけもあり、クラス別に入学記念写真の撮影も行われました。午後からは、各サークルの入部勧誘が一斉にスタート。パネルを見たり、先輩の説明に聞き入ったり。中庭ではフラなどのパフォーマンスも披露され、ロビー周辺は大賑わいでした。

第17期生369人が卒業

暖かな日差しに恵まれた3月22日、第17期生の卒業式がカレッジホールで行われました。今井鎮雄学長からは、「この3年間で最も印象深いことは、東北大震災ではないでしょうか。子供たちの動揺する姿を見て、助け合うことの大切さやボランティアの意義を学び、多くの人が行動を起こしました。これからは、人生の先輩として3年間の経験を生かし「再び学んで他のために」の精神で市民として、世界の中の1人として、考え行動してほしい」とはなむけの言葉がありました。卒業証書はクラ

ス代表がホールで受け取り、各教室で卒業生に手渡されました。25年度の卒業生は369人。コース別では健福83人、国際93人、生環64人、美工29人、音文40人、園芸32人、食文28人でした。卒業生からは、物置1棟が記念品として贈呈されました。

グループ学習の合同発表会

17期生のグループ学習合同発表会が2月28日、カレッジホールで開催され、大勢の先輩、後輩も駆けつけ熱心に耳を傾けていました。午前10時の音文コースから始まり、昼食をはさんで健福コースまで17グループが映像などを使って順次発表しました。ロビーでは28日から3月15日まで、美術専攻生の絵画や陶芸の卒業作品が展示されました。各コースの発表テーマは、次の通りです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）

【生環コース】①衣類と環境（古着の行方）②神戸の川の美しい『みずべ』を守り、創るために③森はすべて<今、森に何が起きているか？>

【食文化専攻】①『漬物』～漬物を見直そう～②歳時記に見る食文化と郷土料理

【国際コース】①世界を変えた6つの飲み物②遥かなるシルクロード紀行③韓国のEnglish Powerは如何にしてなりえたか④神戸の名旅館「西村屋物語」

【園芸専攻】①トウモロコシの栽培におけるアワノメイガの防除②じゃが芋の栽培（芽かき、土寄せの栽培条件が収穫に及ぼす影響について③スイカの栽培（3種類の肥料による収穫に与える影響について

【健福コース】①高齢者の自立生活（生き生きライフ）を支えるユニバーサルデザイン②生涯登山として六甲山を歩いて心身の健康増進に取り組む③アクティビシニアを目指して

入学式の日、花実の森で不審火



4月5日午後12時30分ごろ、「カレッジ西の花実の森で煙が出ている」と新入生から通報があり、事務局職員とグループ〈わ〉

のメンバーが駆けつけ、消火器やバケツの水で20分後に消し止め大事には至りませんでした（写真）。消防車も急行、放水しましたが、斜面の枯草など約30㎡が焼けました。出火原因は不明です。

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退職】中山喜統（マネージャー）【退任】田川由紀、鎌田靖子（コーディネーター）4月1日付【転入】糸原邦彦（マネージャー）葛尾健司（庶務担当）【新任】金田弘司（国際担当）・中道民広（生環担当）